

研修報告書

令和5年10月30日

長浜市議会議員 中川 勇 様

長浜市議会議員 松本長治

私が出席した次の研修視察の結果について報告します。

記

1. 研修等名 令和5年度 全国市議会議員長会研究フォーラム視察研修
2. 研修期間 令和5年10月25日(水)～10月26日(木)
3. 研修場所及び目的
①福岡県北九州市小倉
統一地方選挙の検証と地方議会の課題について
4. 調査内容感想等

・研修の目的

① 全国市議会議員長会の主催する研究フォーラムにおいて、今回基調講演される内容として、「躍動的でワクワクする市議会に」、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」および、「議員のなり手不足問題への取組み報告」は、全国の議会において、検討・改善を図るべき重要な課題である。今回の研修を通し、その方法の一端を学びたい。

・研修内容

① 動的で、ワクワクする市議会にするためには緊張感をもって当局と向き合う事。当局が提案する議案をすべて認めることがどういうことか、今一度考え判断することについての大切さを指摘された。

日本の議会にかけていることは何か。海外の議会を少し研修し見習うべき点

長 浜 市 議 会

の指摘もあった。また、現行の議会に与えられた権限の大きさを認識して、やれること、やるべきことを勉強すべきであるが、議会の常識と市民の常識の差を認識すべきであり、しっかりとその差を埋める努力が必要であるとの点について指摘もされた。県の行政に関わられた片山氏のご経験から、議会でのエピソードを含め、議会との間で交わされたお話の中での「感謝」という言葉がとても印象的であった。

② パネルディスカッションでは、パネリスト4名が取組みについて報告された。統一地方選挙を振り返りった総括の後、地方議会の課題についてそれぞれのお話がされた。人口減少社会の本格的到来が地方にもたらすもの・地域社会の「鏡」としての地方議会とは・議員のなり手不足・ハラスメントの実態といった内容であったが、県、市区、町村別の職業分析や「二元代表制」としての理想は議員活動に専念できる議員专业化であるが、実態は困難な状況であること。女性の議員が求められるが、その障壁となるハラスメントの実態などについて、その対策をされている事例は大いに参考になった。

議員のなり手不足問題への取組み報告では、立候補者が定数を下回る「定数割れ」が全国で続出していることと合わせ、新たな傾向として女性議員の割合が増加しているとの報告があった。

地方議員養成学校の開講や、若手女性議員のネットワークやママの議員インターンを行っておられることなどの報告において、どのような方が議員を目指しておられるのか。議員のなり手不足について、様々な要因はあるが私たち自身が次世代の地域リーダーとなるべき人、言い換えれば「想い」を持つ人材の発掘に積極的ではないのではないのか。というお話がとても印象的であった。また、女性の声を政治に繋ぐ前の課題として、現在の志をもととする女性を取り巻く課題がいかに多く大きいかといったお話や、子育てをしている「ママ」が地方議員になるための取組みを支援する必要性について、女性の視点から報告をされた。

地方で起こっている議員を取り巻く状況について、状況は地域によって少しづつ違いはあるものの、基本的には同じ悩みを抱えておられるのだと再認識できる機会であった。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

今回の研修に参加して学んだことは、従前から言われている通り、市民の方から求められる議会になるための方向性をしっかり見定める事と、それぞれの常識に差がないようにすること。そのことを肝に銘じ、今後も取り組みを議会自らが行う事の重要性。あわせて、様々な努力を進めてこられた議会や団体個人の経験から、いくつもの指摘がされたことを参考に、今後、全国でますます進む人口減少や過疎化による地域の縮小に対し、議会として議員としてどのように考え取り組むか、また地域としてどうか試されていると思う。

求められる議会となるため、できる限り障壁は取り除くこと。あわせて、問題を広く広報しつつ、市民の方のご意見を謙虚に伺うべきであると考えてる。